

Tokai Hokuriku Block GIFU

第16回
東海・北陸ブロック
老健大会
岐阜

問われる老健の覚悟

～2040年の地域共生社会に向けて～

会期

2020.5.14(木) 15(金)

会場

長良川国際会議場

岐阜県岐阜市長良福光2695-2

■主催:東海・北陸ブロック老人保健施設連絡会 ■運営:岐阜県老人保健施設協会
■大会長:岐阜県老人保健施設協会 会長 長縄 伸幸 ■後援:公益社団法人 全国老人保健施設協会
■大会事務局:岐阜県老人保健施設協会 TEL:058-201-7820 FAX:058-201-7821

第16回東海・北陸ブロック老健大会岐阜

大会長ご挨拶

第16回東海・北陸ブロック老健大会岐阜を2020年5月14日(木)、15日(金)の両日、岐阜長良川国際会議場で開催いたします。2017年の介護保険法の改正ならびに2018年の診療報酬・介護報酬の同時改定で老人保健施設は「在宅復帰・在宅療養支援施設」と定義され、2025年・2040年に向け、地域包括ケアシステムをさらに進化(深化)させる主力施設であると期待されています。そこで、今回の大会テーマは、「問われる老健の覚悟～2040年の地域共生社会に向けて～」とさせていただきます。

2019年5月1日現在の岐阜県の施設類型は、超強化型：18施設(23.1%)、強化型：4施設(5.1%)、加算型：20施設(25.6%)、基本型：30施設(38.5%)、その他：6施設(7.7%)で全国平均を若干上回っている程度ですが、同時改定前の強化型が7施設(2018年2月 全国老人保健施設協会公表)であることを考えれば1年という短期間での素晴らしい成果であり、岐阜県の会員施設皆様のご尽力に深謝申し上げる次第です。多彩な高齢者の生活像や家族関係および地域社会の変化を今後どう再構築していくかが我々市民に問われていますが、その地域課題や特性をよく知り、多職種連携で効率良く対応、解決してきたのも我々老健です。したがって老健には地域からの期待度も大きく地域コミュニティの良し悪しの鍵を握らされているといっても過言ではありません。まずは一歩前に踏み出しましょう。



大会長 **長縄 伸幸** (岐阜県老人保健施設協会 会長)

記念講演

保健・医療・福祉サービス研究会 代表 **田中 優至**

【プロフィール】

- 1967年 26歳で義父の病院長急死に伴い閉鎖となった病院の再建に尽力
- 1984年 “在宅重視”の考え方から在宅支援活動を地域で展開
- 1991年 老健施設ケアセンターやごろう苑を開設
- 1995年 在宅支援強化のため在宅総合ケアセンター(訪問看護・訪問介護、居宅介護支援事業所)を開設
- 1996年 九州初のグループホーム開設
- 2000年 介護保険制度創設と同時に、訪問看護・介護協働型のサテライトステーション複数開設
- 2001年 医療型高齢者住宅を開設
- 2009年 医療介護現場を離れ、保健・医療・福祉サービス研究会代表に就任

現在、超少子高齢社会の社会保障政策に目を向けながら、地域包括ケアシステム構築のあり方を追求すると共に「Vision と戦略」に連載執筆中。



開催日程

※プログラムの内容は、変更になる場合があります

第1日 5/14 木

- 9:20～ 受付
- 10:00～ 開会式
- 10:30～ 基調講演
- 11:30～ 休憩(ランチタイムセミナー)
- 13:00～ 演題発表第1部
- 14:00～ 演題発表第2部
- 15:00～ 演題発表第3部
- 16:00～ 演題発表第4部

第2日 5/15 金

- 9:00～ 演題発表第5部
- 10:00～ 演題発表第6部
- 11:00～ 記念講演
保健・医療・福祉サービス研究会
代表 田中優至氏
- 12:20～ 閉会式
- 12:30 終了

大会URL ● <https://roken-gifu.jp.org>